

熊本県上益城郡益城町 株式会社果実堂

トヨタ自動車(株)等が出資し、「健康のある場所。」を経営理念に、以下の人材育成やスマート農業導入により、社員の能力や生産性が大幅向上。従業員の働きやすい職場環境も整備され、「定着率向上」や「儲かる農業」を実践。

概要

- 【設立】 2005年4月
- 【代表者】 高瀬 貴文
- 【売上】 174,565万円
- 【事業内容】①ベビーリーフの生産・販売
②農業技術コンサルティング
- ※有機JAS認証、GLOBALG.A.P.認証取得
- 【経営面積】 70ha
- 【主要取引先】量販店、スーパー、生協
- 【栽培管理部常時従業員数】 50名
- ※正社員・准社員31名、常時パート19名
- 【グループ会社】うれしの農園(株)(三重県)
株果実堂テクノロジー(熊本県)
- 【主要株主】三井物産、トヨタ自動車等
- 【ホームページ】
<https://www.kajitsudo.com/>

労務環境整備等の特徴的な取り組み

- ベビーリーフ栽培に必要な知識として気象、土壌、栽培に係わる筆記試験(初級、中級、上級①、②)を独自に考え、定期的実施。また、トヨタ生産方式の「星取表」の考えを農の雇用研修終了生発案で導入し、栽培に必要な各種技術(機械操作、灌水等15項目)を洗い出し、定期的な実地試験を行い、従業員の技術習得の均一化や技術指導指針の目安にしている。
- ベビーリーフ栽培において、同社グループ会社開発の高瀬式14回転ハウスや自動灌水装置を導入し、年間12～14回転する。年間を通じて播種～収穫迄の一連の作業を繰り返し経験でき、前述の人材育成指針により農業未経験でも技術習得が早く、最初は研修指導者等が担当するハウスを見習いで管理。技術習得が進んで行く事で担当ハウスを任せてもらえる。
- 人事評価を導入し、全社員自ら仕事の中での目標と行動計画を設定。その達成状況等は期の終わりに開催する全社員参加の会議で発表。目標達成状況や会社貢献度等に応じて、表彰を行っている。目標は、会社の経営方針、理念、行動計画等に準じた内容となっており、同目標が達成される事で、会社の経営発展にもつながる。また、人事評価結果で昇給する賃金制度も導入されている。
- 従業員の声を反映し、定期的に待遇改善(子ども扶養数に応じた子ども手当支給、退職金制度導入等)。これにより、将来に向けて安心して従業員が働ける職場が出来ている。
- トヨタ生産方式のカイゼンの考えを業務や労務管理等の中で導入し、また高瀬式14回転ハウス等の技術革新により、大幅に生産性向上。その結果、他産業並みの労働時間や休日、ノー残業が確保され、有給休暇も適宜消化出来ている。

人材育成・労務管理の効果

- 毎年採用した従業員を当事業の支援を受け、育成。県内でも採択件数が最も多い31人となっているが、定着率74%(独立等含む)と極めて高い中で、研修終了生が次の若手人材を育てたり、業務改善や新たな人材育成の提案に一躍を担っている。そうした若手が育ち、活躍する事で農の雇用活用当初では大幅な赤字経営であったが、現在は売上279%増の17.4億円、経営も飛躍し、1.1億円の黒字に転じている。



業務に必要な知識として気象、土壌、栽培に係わる筆記試験(初級、中級、上級①、②)を独自に考え、実施。研修終了生が試験に備えた学習会等を自主企画・運営している。